

岐阜県立可児工業高等学校

学校長 林 千尋

学校住所 可児市中恵土2358の1 電話 0574-62-1185

- 1 会議の名称** 平成25年度可児工業高等学校学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成**
- | | | |
|----|-------|----------------|
| 委員 | 石原 里佳 | 元PTA役員、会社役員 |
| | 高橋 知久 | 可児市中恵土自治会連合会長 |
| | 中野 祥子 | 可児市青少年育成アドバイザー |
| | 藤田 幸夫 | (株)甲山製作所社長 |
| | 渡邊 治 | 可児市下恵土自治会連合会長 |
- (委員名五十音順)
- 学校側
- | | |
|-------|--------------|
| 林 千尋 | 校長 |
| 井戸 好彦 | 教頭 |
| 藤井 健二 | 事務長 |
| 土田 公成 | 教諭 (教務部長) |
| 伏見 圭太 | 教諭 (生徒指導部長) |
| 水野 茂之 | 教諭 (進路指導部長) |
| 酒井 眞二 | 教諭 (工業部長) |
| 兼松 竹司 | 教諭 (部活動推進部長) |
- 3 会議の目的** 岐阜県立可児工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、平成25年度の教育方針・重点及び学校課題を説明し、それについての幅広い意見・提言を受け本校教育の改善・充実に資するとともに、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催** 平成25年7月16日(火) 10:00~12:15 可児工業高等学校校長室
委員5人と学校側8人が出席
- 5 会議の概要**
- (1) 学校長挨拶 学校評議員の委嘱
新学習指導要領の実施を控え、岐阜県教育ビジョンのもと可茂地区唯一の工業高校として、その使命と存在意義を具現化しものづくり産業の発展を支える「伸びしろの大きい」地域社会から期待される人材の育成に取り組んでいる。昨年度は「キャリア教育推進校」として文部科学大臣表彰を受け、今後も教育活動のあらゆる場面に位置づけて展開していきたい。評議員の皆様から地域や社会の意見を直接お聞きし、さらに信頼され期待される学校づくりを目指したい。
- (2) 学校紹介DVDの視聴 創立50周年記念式典を控えて
- (3) 授業参観
第3限の全クラスを対象に実施、実習室では機械科3年生の実習やマイコンカーラリーなど専門科の取り組みを見学、教室では普通教科などの座学を中心に参観して頂いた。
- (4) 学校の近況と課題の説明
教務部：義務教育段階での基礎基本を学び直し、定着させようと1・2年生を対象にマナトレ補習を週3日始業前に実施している。今年度の入学生からは幅広い進学希望に対応できるよう普通教科の時間数を大幅に増やした教育課程をスタートさせた。

生徒指導部：全体的には落ち着いた学校生活を送っている。専門高校として基本的な生活習慣の指導を重点目標とし、特に遅刻防止については学校一丸となって推進している。受験希望者の減少もあり生徒の多様化が一段と進んでいる。

進路指導部：求人数はここ数年減少傾向だったが、今年度は少し増加すると思われる。第一希望で合格が勝ち取れるよう準備させている。進学についても国公立大学進学にも対応出来るよう普通教科の選択を大幅に増やした。進路対策模試や外部講師による研修などと同時に生徒の意識改革に力を入れたい。

工業部：ものづくりの楽しさを通して、社会の一員として逞しく生きていける人づくりを目指している。コミュニケーション能力の向上のため、各種イベントなどに積極的に参画しながら地域との交流を図っている。

(5) 協議 テーマ「授業参観の感想と学校への提言」

意見 1 校内での挨拶は元気よく全員がしてくれる。地域においても部活動の生徒はみんな挨拶してくれる。挨拶は今の社会で本当に大切であり、地域の小学校では「あいさつ日本一」を掲げて取り組んでいる可児工業の生徒達も一緒にやって欲しい。

意見 2 学校の第一印象は、挨拶ができ、規律正しいと感じた。先日可児工業の生徒さんが道端で具合の悪そうな老人を助けているのを見かけた。実践できる行動力が大切だと感じた。

意見 3 今の工業高校は指導の内容や幅広さに苦勞も多いと思うが、学校目標や方針を明確にし、達成目標を意識した取り組みが重要だと思う。

意見 4 どの科も技能検定や資格取得に積極的に取り組んでいた。会社においても社員の資格取得は重要で、私の会社では技能検定2級の取得を積極的に推奨し給与にも反映させている。日本は「ものづくり立国」これからも工業高校に期待している。

意見 5 遅刻防止など基本的な生活習慣指導は大切である。新入社員でもこの意識がないと社会生活について行けなくなり辞めてしまうケースもある。遅刻指導は社会人になってから役立っている。人生を変えることにも繋がっていく。

意見 6 仕事関係で多くの会社に出向くことが多いが、可児工業の卒業生の評判は良く期待も掛けられている。在学中の挨拶や遅刻防止の指導は重要である。

意見 7 最近の新入社員は大人しいが、コミュニケーション能力の不足を強く感じる。会社では自分の意見を持ち話せる人が求められる。在学中の経験は重要だと思います。

意見 8 地域活動でも高校生に期待するところは大きい、公民館活動や自治会のイベントでは活躍してもらっているが今後もお願いしたい。活動が教育の一環となるよう今後も互いに連携して協力していきたい。

意見 9 地域では、こども見守り隊や交通安全協会などが、事故防止を呼びかけ活動しているが、高校生の交通マナーについては心配をする声が大きい。自転車事故の大半が高齢者と中高生で、一歩間違えば今までの頑張りが一瞬にして無くなってしまう。交通ルールの厳守は勿論だが、高齢者の対する配慮の気持ちも指導して欲しい。

6 会議のまとめ

- ・本校に対する地域からの期待は大きく、地域活動は今後も連携を強化しその目的を意識した指導が必要と感じた。活動目的を示すことでやり甲斐を持たせ自信に繋げたい。
- ・交通事故防止については重要な課題で、「ルールを守る」ことの指導だけでなく地域社会での一員として共に生活して行く意味も含めて指導する必要がある。このことが教育目標である「生きる力」を育む原点と位置づけていきたい。